



佐那河内村の 地形・地質に基づく

土砂災害危険個所の分布

佐那河内村学術講演会

令和6年 1.21 日曜

10:00~12:00(終了予定)

参加無料

佐那河内村役場 (村民ホール)



講師 **西山 賢一** 徳島大学大学院社会産業理工学研究部准教授,博士(理学)
にしやま けんいち

1969年 熊本市生まれ。
2000年 筑波大学大学院地球科学研究科(博士課程)単位取得退学。専門は応用地質学(岩石の風化、地すべり、平野の地盤などが研究テーマ)。
国土交通省四国地方整備局の道路防災有識者、国土交通省四国地方整備局四国山地砂防事務所の善徳地区地すべり対策検討委員会委員、林野庁四国森林管理局の祖谷川地区直轄地すべり対策技術検討委員会委員、徳島県・高知県の三好市山城町及び長岡郡大豊町山地災害復旧対策技術検討委員会委員、徳島県の有瀬地区地すべり対策検討委員会委員など、多くの国・地方自治体の斜面防災関連の委員を委嘱されている。

佐那河内村には、過去のプレート沈み込みによって形成された変成岩(いわゆる「阿波の青石」を含む)と、海底火山から噴出した玄武岩溶岩(緑色岩)が広く分布し、標高1000メートルを超える山地を形成しています。これらの山地は河川によって侵食されて急斜面となり、豪雨時や地震時には、まれに地すべりや山崩れ、土石流といった土砂災害を引き起こすことがあります。このような土砂災害危険個所が村内のどこに分布しているのかを知り、災害への備えを高めていきましょう。

■主催：佐那河内村
■後援：阿波学会

お問い合わせ 企画政策課 TEL088-679-2973

